

令和6年度 ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校 学校経営構想

1 学校経営理念【学校の使命】

未来を創造的に生きる人材の育成

～人生100年時代を力強く前向きに生き抜くための人格形成～

2 学校教育目標

やさしく かしく たくましく



3 目指す学校像 「一人一人の子供のよさや可能性を導く鶴ヶ丘小学校」

すべての子どもは（どんな子どもでも）元々「できるようになりたい」「がんばりたい」「伸びたい」と願っているものです。その願いを叶えるためには「大人の適切な関わり」が重要です。子どもの小さな努力も見逃さず「認める」「褒める」ことを意識し、子どもの意欲を喚起していく学校を目指します。子どもの意欲は大人の想像を遙かに超えた成長につながります。

小さな種にはたくさんの養分がつまっています。目には見えなくても土の中で芽が出るその時を待っています。時に見守り、時に水や肥料を与えながら、子ども達の成長を楽しみましょう。

4 目指す子供像

○人を大切にする子

○自ら考え進んで活動する子

○心も体もたくましい子

5 目指す教職員像 「時々の初心を大切にし、人間力を高めようとする教職員」

人生のどのタイミングでも「その年頃ならでは」の初心が常にあります。「初心」の内容はどんどん変化していくものですが、その都度、心に留めて自分自身の人格を磨いていきたいものです。

(1) 自分を大切にし、自己コントロールできる教職員

(2) チーム鶴ヶ丘の一員として積極的に学校経営に参画する教職員

(3) 子どもの思いや願いを理解できる教職員

(4) わかる・楽しい授業づくりのために挑戦する教師

(5) 保護者の方や地域の方の心に寄り添う教職員

6 基本方針

一人一人の子供に「あたたかな居場所」を ～一人も置いてきぼりにしない～

他から認められ、子供自身が成長を感じられるようなあたたかな居場所を作りたい。一人一人の子供たちに安心感を持たせ、元々持っている意欲を喚起することは、配慮を要する子供たちを支えるだけでなく、すべての子供たちの豊かな心を育て、学力を伸ばし、心と体の健康を増進することにもつながると考えます。

7 今年度の重点

(1) 個別支援と集団指導のバランスがとれた学級経営

① 教室環境の整備

- ・ 学習規律を徹底する
- ・ モノの管理、清掃の行き届いた教室を作る
- ・ 学級の児童全員が所属感を得られる工夫のある教室づくりに努める

② 信頼関係の構築

- ・ 一人一人の子供の特性理解に努める
- ・ 違いを認め合う場を重視する
- ・ 教師が配慮を要する児童への関わり方についてよきモデルとなる

③ 本音が語れるあたたかな雰囲気づくり

- ・ 失敗、まちがい、勘違いが許され、努力の過程が認められる雰囲気づくりに努める
- ・ 学級の児童全員が活躍できる場の工夫に努める
- ・ 人の役に立つ喜びを味わわせ自己有用感を高める取組を積極的に行う

(2) 子供自身が達成感を感じる授業づくり

① 「授業づくり7つの視点」の推進

- ・ 課題とまとめの整合性をとる
- ・ 一人でじっくり考える時間の確保と対話を重視した授業展開を図る
- ・ 個に応じた支援が全体指導にも生きるよう工夫した授業展開を図る

② 学力定着の差に応じた授業づくり

- ・ 少人数指導、チームティーチングによる授業形態の工夫を重視する
- ・ 個に応じた教材開発を行い、全体指導にも生かすよう努める

③ 勤勉性を意識した授業づくり

- ・ ノート指導を徹底する
- ・ やるべき課題に根気強く取り組ませ、成就感と自己肯定感を味わわせる

8 今年度の努力点

(1) 子供に寄り添った教育相談・生徒指導体制の推進

①不登校等の未然防止

○日々、カウンセリングマインドを持ち子供たちと接するよう努める

②不登校等への迅速な初期対応

○一人一人の子供たちの変化に気づき、必要に応じてチームで早期対応を図る

③生徒指導委員会、ケース会議の充実

○配慮を要する児童の学びの場については、教室（特別教室）、保健室、みんなの学級、自
学ルーム、日本語指導教室、校長室、オンライン等、あらゆる場を活用し、子供の状況に
応じた対応を行う

○各種問題行動のケースに合わせ、迅速及び継続的な対応に努める

○生徒指導委員会の中で不登校（傾向）児童の支援に特化した会議を設定する

④子供の困り感に寄り添う保護者・関係機関との連携強化

○配慮を要する子どもや保護者の背景に心を寄せ「共感」することを心がける

○目的を明確にした保護者面談を行う

○子育て支援課、警察、児童相談所、市教委、SC、SSW等と積極的な連携に努め、それ
ぞれの役割を明確にした策を講じる

(2) 豊かな心育での推進

① 異学年交流の積極的な推進

○縦割り活動の充実

・「なかよしタイム」の充実を図る

・異学年による教え合い・学び合いを通じた交流学习の充実を図る

② 心つなぎの推進

○挨拶の習慣化

・いつでも、どこでも、誰とでも笑顔で挨拶ができるよう教職員がお手本となる

③ 道徳教育の充実

○考え議論する道徳の授業実践

・道徳科の質的転換に向け、多様な指導法を取り入れた授業展開を図る

○美しくあたたかい環境づくりの推進

・四季を通じた花壇の整備や掲示物、子どもの努力が伝わる学校環境づくりに努める

(3) 学びの改革の推進

①基本的な授業展開の確実な実施

○「鶴ヶ丘小学校 授業づくり7つの視点」の推進

○読書活動の充実

○指導法の工夫改善

・埼玉県学力・学習状況調査等の各種学力調査の結果を活用し具体的な指導法の改善に

努める

②新しい教育課題に立った授業づくり（主体的・対話的で深い学び）の推進

○個別最適化された学び及び協働的な学びの充実

- ・指導の個別化と学習の個性化を図る
- ・他学級、他学年、他校等と共に学ぶ機会を設定しより質の高い学びを生み出す

○OGIGA スクール構想の実現の充実

○保護者や地域、行政、企業等の教育力の開拓

（外国語教育、主権者教育、消費者教育、伝統や文化に関する教育、プログラミング教育等）

○発達段階に応じた様々な体験活動の推進

- ・体験を通じた環境教育、福祉教育、郷土学習等の充実を図る

○特別支援教育の充実

- ・適切なアセスメントにより、一人一人の児童の強みを生かした学びの方法を展開する
- ・配慮を要する子どもへのチームアプローチを徹底する

③学校課題研究（国語科）の推進

○子供の実態を分析し授業改善に挑む

（４）心と体の健康を育む教育の推進

①体育授業、体育的活動の充実

- ・新体力テストの結果を生かした体育活動の充実を図る。
- ・外遊びの奨励

②学校保健教育 の充実

- ・養護教諭と連携・協働した保健学習の充実を図る。
- ・学校保健、家庭と連携した虫歯予防・治療の啓発を図る

③食に関する指導の充実

- ・ゲストティーチャーによる食育授業の展開を推進する

（５）安心・安全な学校づくりの推進

①危機対応能力の向上

- ・不審者、自然災害、食物アレルギー等の命に関わる内容への危機意識向上を図り、確実な対応を推進する。

②安全(防災、防犯)教育の充実

- ・施設・設備の安全点検の充実を図る。(子供の目線に立った安全点検の徹底)
- ・交通安全指導、防災訓練、防犯教室、非行防止教室、薬物乱用防止の充実を図る。
- ・保護者、地域、行政と連携した交通安全対策の推進を図る。
(PTA 校外委員、子供 110 番の家、SG リーダー)

（６）地域と共に歩む学校づくりの推進

①学校運営協議会の充実

- ・学校の実態、家庭・地域の現状について率直な情報交換を行う
- ・学校課題に目を向けた協議の柱を設定する

②学校応援団の活性化と組織化

- ・学校応援団の組織を整備し応援団会議を経てスムーズな活動を推進する

③特色ある教育課程の充実を図る。

- ・保護者、地域（学校応援団）NPO、企業、近隣大学等地域の教育力を活用し効果的な授業の展開を図る。

④保護者・地域への積極的な情報発信

- ・子どもの成長を保護者にこまめに伝える
- ・学校だより、学年だより、ホームページによる情報発信を図る

⑤地域連携の推進

- ・大井東中学校区（大井東中、亀久保小、鶴ヶ丘小）における連携、幼小連携を積極的に推進する。

（７）教育活動の質を高める働き方改革の推進

①組織力の向上

- ・三役による校務連絡調整会議、企画委員会、学年会、各種部会等の質向上を図り、学校運営機能の推進を図る
- ・情報の一元化を徹底し、報告・連絡・相談の成果を発揮する

②業務内容の見直し改善

- ・業務上での問題点について小さなことであっても改善策を協議できる雰囲気づくりに努める
- ・会議及び研修内容等については計画的に進め、資料の事前配付や協議の柱を明確にした話し合いにより会議時間の短縮を目指す
- ・学校応援団組織体制を明確にし、地域の力を活用する